

■柳生宗矩(但馬守)
やぎゅうむねのり
比叡山焼討・1571 = 大和国柳生庄で、上泉伊勢守から新陰流の印可を伝授され、柳生に引きこもって柳生新陰流兵法の工夫と完成に精進した(柳生流)柳生石舟斎宗庵の五男に生まれる。

室町幕府滅亡1573 = 2歳：

石山合戦終・1580 = 9歳：

本能寺の変・1582 = 11歳：

長久手の戦・1584 = 13歳：_この頃から9年余り、しばしば諸国遍歴の旅に出る。

・・・・1589 = 18歳：

秀吉全国統一1590 = 19歳：

川島通交・1594 = 23歳：_父宗庵とともに、徳川家康に刀法を披露し、その士官となった。

豊臣秀吉没・1598 = 27歳：

関ヶ原の戦・1600 = 29歳：_関ヶ原の戦では、後方で密使として活躍。
朱印船制始・1601 = 30歳：松下重剛の妹りと結婚。*徳川家康の招きを老齢のゆえに辞した石舟斎は、宗矩を幕下に勤め、江戸で徳川家の兵法師範となり、2代将軍秀忠に印可を与えた。

家康駿府退隠1607 = 36歳：長男十兵衛が誕生。

大坂冬の陣・1614 = 43歳：_大坂冬の陣では、先鋒部隊に属して戦う。
大坂夏の陣・1615 = 44歳：_夏の陣では、将軍秀忠の本営にあって、主君の警護役をつとめ、荒武者10余名を討ち取る。
徳川家康没・1616 = 45歳：

徳川家光将軍1623 = 52歳：*3代家光の師範となり、
寛永寺創建・1625 = 54歳：

紫衣事件・1629 = 58歳：_印可を与えたが、剣技上ばかりでなく、政治上でも意見を具申し信頼を受ける立場となった。

徳川秀忠没・1632 = 61歳：_前将軍秀忠が死去。諸大名の動静を探る惣目付に就任し、3000石加増。
鎖国令・1634 = 63歳：_将軍家光が30万余名を率いて上洛した際、道中奉行の大役を担う。
東照宮完成・1636 = 65歳：*1万石となって、大名に列せられた(のち1万2500石)。
島原の乱終・1638 = 67歳：_また、禅僧沢庵とも親交があり、この頃、沢庵から「不動智神妙録」を書き与えられるなど、柳生新陰流兵法の理論体系の完成に大きな影響を受けた。家光、沢庵、宗矩3者の身分を超えた人間関係は、江戸幕藩体制の完成に大きな力となったといえよう。
家光鎖国完成1641 = 70歳：_息子十兵衛が柳生の里に帰るに際して授けた「兵法家伝書」3巻は、近世剣術界に大きな影響を与えた。
寛永飢饉終・1643 = 72歳：

・・・・1646 = 75歳：_病没した。